

8月6日

第28回BMW技術全国交流会

『がまだせ熊本』

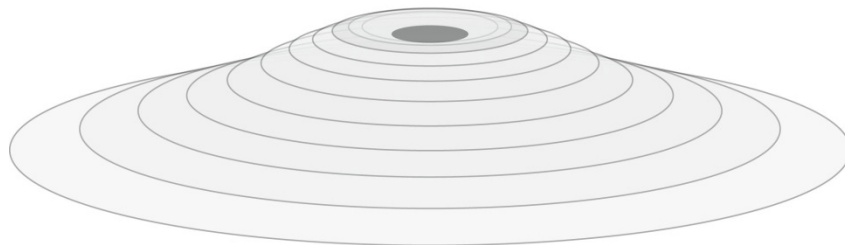
～復興からのあゆみ、農の再生、未来への架け橋～

開催案内

2018年11月26日（月）～27日（火）

熊本県熊本市 菊南温泉ユウベルホテル

がまだせ
熊本
BMW2018



第28回BMW技術全国交流会実行委員会

第28回BMW技術全国交流会 開催案内

(ページ)

◎ 第28回BMW技術全国交流会 開催挨拶	1
◎ 開催概要	3
1. 開催日時と場所	3
2. 全国交流会スケジュール	3
3. 視察コース	4
4. 参加費	4
5. 詳細	
(1) 全国交流会の主な内容	5
(2) 視察コースの詳細	7
6. 会場へのアクセス・会場からのアクセス	9
◎ 申込要項	10
◎ 各地からの飛行機・鉄道のアクセス案内	13

平成30年7月豪雨で被害に遭われた皆さんにお見舞い申し上げます。

第28回BMW技術全国交流会

「がまだせ熊本～復興からのあゆみ、農の再生、未来への架け橋～」

第28回BMW技術全国交流会 実行委員長 中塘 万格人

「がまだせ熊本～復興からのあゆみ、農の再生、未来への架け橋～」

第28回目となるBMW技術全国交流会を11月26～27日の2日間にわたり、17年ぶりにここ熊本県で開催できることになりました。平成28年4月に発生したマグニチュード7.3の熊本地震から2年と数カ月の中、大災害からやっと復興へと歩みだしたこの火の国くまもとでの開催の意味を深く受け止めています。昨年11月のBMW技術協会理事会で、開催場所について「この熊本しかないでしょう。」と全員一致で決定いただきました。

23名で発足した第28回BMW技術全国交流会実行委員会では、この経緯を受けて、今回の全国交流会のメインテーマを「がまだせ熊本～復興からのあゆみ、農の再生、未来への架け橋～」としました。「がまだせ」は熊本弁で誠心誠意、努力するという意味です。

熊本地震では、平成28年4月14日午後9時26分、マグニチュード6.5、最大震度7を観測し、さらに28時間後の16日午前1時25分、マグニチュード7.3、最大震度7に襲われました。

熊本県内においては、避難所暮らしをしいられた人々が18万3千人にもものぼり、いまだに南阿蘇村や益城町などでは自宅に帰りたくても帰れない方々が多数おられます。

近年、日本列島に於いて大災害が頻繁に発生しています。災害は不幸な出来事かもしれませんが、そこからは、どうにかして立ち上がろうとする人々は、無限の力を秘めている様な気がしています。平穏な日々だったころを偲せな日々と再確認することの大切さ。温かい味噌汁を心の底から「美味しい」と感じた日。布団の上で横になって眠れる偲せ。それぞれの故郷への思いや郷愁によって、かならずやすばらしく再生、復興して行くものと祈っています。

そこで、この交流会で災害地の声を聴いていただく為に、南阿蘇村の村長、吉良清一様に来賓としてご出席をいただくこととなり、ご挨拶をいただけることになりました。

2日目の見学コースには傷ついた熊本城や益城町の活断層がずれた様子、南阿蘇村コースなども組み込むことが出来ました。

また昨年に引き続き、岡山大学の奥地拓生准教授にご講演をお願いしました。奥地先生には8月31日～9月1日に阿蘇山周辺、南阿蘇村、益城町の断層などの岩石調査を行い、そこから見えてくる水の特性、ミネラルの違いや地質の特徴などをお話ししていただく予定です。

実験の報告につきましては、山梨大学の御園生拓教授に西日本BMW技術協会会員を訪問いただき、生物活性水を使用した実験研究や計画の立て方を指導していただいています。若手生産者による新たな取り組みに期待をしています。

今年、2月22～23日に開催された第16回BMW技術基礎セミナーに参加させていただくことが出来ました。その中で、「種子法廃止とこれからの日本農業について」元農林水産大臣山田正彦氏の講演を聞かせていただきました。日本で守られてきた、米、ムギ、大豆の種子が近い将来、アメリカの大手企業により遺伝子組み換えの種子になるのではないかと・・・、という大変興味深いお話でした。

日本の農業がこれから大規模化農業へ推進している中で、化学肥料や農薬を使って単に作りやすくなった栽培方法にとびついてしまうことに、危機感をいただきます。未来の農業に遺伝子組み換え種子を使わないで、生産が出来るのか？夢は描けるのか？と感じています。

このBMW技術の確立は、今後消費者がどのような農産物を求めていくかを考えるならば、そこに明るい一筋の光として見えてくるような気がします。

この全国交流会はBMW技術の実践、実証であり、その学習をすることにより会員同士の意見や情報を交換することでヒントを得ながら、生産技術の向上につながっていくものと考えます。地域の環境や資源を合わせた生産を維持し、持続可能（循環）を目指します。今回の交流会が、今一度BMW技術を再認識できるような場になることを祈りつつ、皆様方のご参加をお待ち申し上げます。よろしくお願い致します。

【第28回BMW技術全国交流会 開催概要】

1. 開催日時と場所

(1) 開催日時

2018年11月26日（月） 13時30分～17時30分
（受付：12時30分～）

11月27日（火） 9時00分～12時00分

(2) 開催場所

菊南温泉ユウベルホテル

〒861-5517 熊本県熊本市北区鶴羽田3丁目10-1

電話：096-344-5600

2. 全国交流会スケジュール

(1) 一日目 ※発表時間枠などについては、予定が変更になる場合もあります。

第一日目	11月26日（月）	ユウベルホテル2階 光の間	※敬称略
12時30分	受付開始		
13時30分	開会セレモニー（実行委員長挨拶、来賓挨拶、歓迎挨拶）		
14時00分	基調報告 BMW技術協会 理事長 伊藤幸蔵		
14時30分	BMW技術基礎講座 BMW技術協会 事務局長 秋山澄兄		
15時15分	休憩～ポスターセッション		
15時35分	基調講演（記念講演） 岡山大学准教授 奥地拓生		
16時20分	熊本地震報告（被災会員より、復興支援活動報告）		
17時20分	総括／事務連絡など		
17時30分	チェックイン		
18時30分	交流・懇親会（2階 光の間）		
20時30分	交流・懇親会 終了		

(2) 二日目 ※発表時間枠などについては、予定が変更になる場合もあります。

第二日目	11月27日（火）	ユウベルホテル2階 光の間	※敬称略
8時30分	ポスターセッション		
9時00分	生物活性水を科学する 山梨大学教授 御園生拓		
	発表（野菜・果樹・稲作・畜産・生活などを予定）		
10時25分	休憩～ポスターセッション観覧		
10時45分	発表（野菜・果樹・稲作・畜産・生活などを予定）		
11時45分	総括		
11時55分	事務連絡など		
12時30分	視察バス出発（各コースとも）		
12時40分	シャトルバス（熊本駅、熊本空港、福岡空港）出発		

3. 視察コース

(1) 日帰りコース（27日（火）午後）

Aコース：やまびこ会と熊本地震被災地訪問コース
（やまびこ会、益城町の断層を回る）

Bコース：九州北部豪雨被災地訪問コース
（福岡県朝倉市の小ノ上喜三さんを訪問）

Cコース：糸島BMの生産者訪問コース
（糸島BM農法研究会の生産者訪問）

(2) 1泊2日コース（27日（火）～28日（水））

Dコース：南阿蘇村と阿蘇山をめぐるコース

南阿蘇村のBMプラントや圃場と村内をめぐり、地震の被災地を視察、阿蘇山頂（※入山規制で登れない場合は熊本城に変更）をめぐるります。

4. 参加費

※参加費などは事前振込でお願いします、お申込みと振込方法の詳細は10ページをご覧ください。

(1) 全国交流会の参加費

項目	参加費	備考
交流会参加費	6,000円	両日の参加
	4,000円	どちらか一日の参加
懇親会費	7,000円	
宿泊費	9,000円 (14,000円)	宿泊費(朝食付) (シングルで希望の方、先着30名)

(2) シャトルバスと初日の弁当（13ページ～を参照ください）

項目		費用	備考
1日目(26日) 会場に	熊本駅から	300円	
	熊本空港から	800円	
	福岡空港から	2,000円	韓国と遠来の方に限定
1日目の昼食弁当		1,500円	ホテル2階 富士の間 (12時～13時20分まで提供)
2日目(27日) 会場から	熊本駅に	300円	
	熊本空港に	800円	
	福岡空港に	2,000円	韓国と遠来の方に限定

(3) 視察ツアー

コース	参加費	備考
Aコース やまびこ会と熊本地震被災地訪問	5,000円	弁当代を含む
Bコース 九州北部豪雨被災地訪問	5,000円	弁当代を含む
Cコース 糸島BMの生産者訪問	5,000円	弁当代を含む
Dコース 南阿蘇村と阿蘇山をめぐる	22,000円	初日弁当代、阿蘇山頂バス代含む。2日目の昼食は含まず

5. 詳細

(1) 全国交流会の主な内容

○基調報告『第28回BMW技術全国交流会の開催に向けて・BMW技術協会活動報告』

一般社団法人BMW技術協会 理事長 伊藤幸蔵

1967年生まれ。1990年農林水産省 農業者大学校卒業。山形県東置賜郡高島町で有機農法と畜産の複合経営を行う「米沢郷牧場グループ」の代表。1995年には、農業生産法人「ファーマーズクラブ赤とんぼ」を立ち上げる。

自家で営む農業生産法人「エコファーム匠」では、稲作を11ha、畑を3.5ha、果樹園を50a作り、主に田んぼの耕作に従事する。2011年にBMW技術協会が法人化、一般社団法人BMW技術協会の理事長に就任。

○BMW技術基礎講座

一般社団法人BMW技術協会 事務局長 秋山澄兄

1971年生まれ。2006年に株式会社匠集団そら入社、山梨県の白州郷牧場での研修を経て、2011年から一般社団法人BMW技術協会の事務局長に就任。

BMW基礎講座では、BMW技術の基礎と各分野（畜産・耕種農業、生活）での活用方法などを説明します。

○基調講演 『BMW技術～地球・生命の歴史、岩石と水とミネラルの循環』（仮題）

岡山大学惑星物質研究所 准教授 奥地拓生

1969年生まれ。1993年京都大学理学部を卒業、1998年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了。名古屋大学理学部助手、名古屋大学高等研究院教員を経て、現在に至る。

長年に渡り、BMW全国交流会の事前に、開催各地の岩石調査をおこない、地域の岩石や水の特性などについての学習会を開催し、ミネラル、地球と生命の大きな循環について講演をおこなっている。

○熊本地震報告

以下のような内容を予定しています。

- ・熊本地震で被害に遭われたBMW技術協会会員の状況と現在を複数の会員から報告してもらいます。
- ・地震の被害の復興を支援しているグリーンコープ災害支援センターから、これまでの支援と現状、今後の計画を報告。

○ポスターセッションについて

昨年からはじめたポスターセッションは、会場内に全国の会員の生物活性水を使用した実験報告や事例報告や活動概要をまとめたポスターを貼りだし、掲示者が自身の報告を聞きに来た方に適宜説明をするものです。ポスターセッション中は、複数の個人・団体が同時にポスターを貼り出します。聞き手は自由に興味がある発表を聞きに行き、ディスカッションします。発表者は自身の行っていることを知ってもらうことだけでなく、より多くの人から様々なアドバイスをもらい活動の参考にすることや、積極的に質疑応答を行い、交流を深めることが主な目的です。

○生物活性水を科学するについて

BMW技術協会では2013年から、2月～3月におこなわれる基礎セミナーにて、若手生産者を中心に米・野菜・果樹・畜産・生活の5部門において生物活性水を使用した実験への取り組みを進めてきました。この取り組みは、山梨大学の御園生先生の監修の下、実験計画の立て方から、実験データの取り方までを学んで、実践、実証をおこなっています。また、自分たちが日常使っている、あるいは使ってきたBMW技術・生物活性水を再評価することでもあります。

今回、熊本での開催にあたって、西日本BMW技術協会会員の実験報告も予定しています。

(2) 視察コースの詳細 (※各コースとも昼食は車中で弁当となります)

Aコース

Aコース	やまびこ会と熊本地震被災地訪問コース
コース概要	やまびこ会、益城町の断層を回る
スケジュール	ユウベルホテル出発 (12:30) →熊本城見学 (※車中から) →やまびこ会視察→熊本県益城町の断層見学→熊本空港 (16:20到着) →熊本駅 (17:10到着)
内容	<p>(車中から熊本城見学)</p> <p>訪問地：やまびこ会 (熊本県宇城市)</p> <p>主にれんこんを栽培している生産者グループです。メンバーは13名で総面積は25ha。現在は若手メンバーを中心にれんこん栽培時におけるBMW技術実験を行っています。</p> <p>訪問地：熊本県益城郡益城町の断層</p> <p>益城町には3つの活断層があり、熊本地震で横ずれし、地表に現れた断層を見学します。</p>

Bコース

Bコース	九州北部豪雨被災地訪問コース
コース概要	福岡県朝倉市杷木のめぐみの会の小ノ上喜三さん訪問
スケジュール	ユウベルホテル出発 (12:30) →めぐみの会の小ノ上さん訪問→福岡空港 (16:55到着) →博多駅 (17:25到着)
内容	<p>訪問地：めぐみの会の小ノ上喜三さん (福岡県朝倉市)</p> <p>柿、すももを栽培している果樹農家です。昨年7月に福岡県と大分県を中心とした九州北部で発生した集中豪雨により河川の氾濫や土砂崩れなどが発生し、多くの建物や畑など被害を受けました。小ノ上さんの自宅、畑も被害を受けましたが、奇跡的に残った畑を前に九州北部豪雨の様子を語っていただきます。</p>

Cコース

Cコース	糸島BMの生産者訪問コース
コース概要	糸島BM農法研究会生産者の圃場と柴田さんの生物活性水プラント視察
スケジュール	ユウベルホテル出発 (12:30) →糸島BMの生産者の圃場と柴田さんの生物活性水プラント視察→福岡空港 (16:55到着) →博多駅 (17:25到着)
内容	<p>訪問地：糸島BM農法研究会 (福岡県糸島市)</p> <p>ミニトマト、パプリカ、カラーピーマン、スイートコーン、なばな菜、アイスプラント、パクチー、ブロッコリー、にら、小ねぎ、白ねぎ、パッションフルーツなど多彩な野菜や果物を生産しているグループです。現在は8名で総栽培面積は22haです。それぞれの生産者の圃場見学、そして柴田周作さんの生物活性水プラントを視察します。柴田さんのプラントは自宅の便槽を原料としており、現代の江戸農法を見学することができます。</p>

Dコース（1泊2日コース）

Dコース	南阿蘇村と阿蘇山をめぐるコース
コース概要	南阿蘇村のBMプラントや圃場と村内、地震被災地を視察、阿蘇山頂（※登れない場合は熊本城に変更）をめぐる
スケジュール	<p>【1日目（11月26日）】 ユウベルホテル出発（12：30）→南阿蘇村有機肥料生産センター訪問→南阿蘇村村内の熊本地震被災現地視察→阿蘇白水温泉瑠璃（宿泊先）到着 ※その後、バスで懇親会会場へ移動して懇親会</p> <p>【2日目（11月27日）】 阿蘇白水温泉 瑠璃出発（8：40）→村内バラ生産者の小堀さんのハウス視察→白川水源見学（10：30出発）→阿蘇山頂見学→道の駅 あそ望の郷くぎのにて昼食（各自負担）→熊本空港（14：50到着）→熊本駅（15：40到着） （注）入山規制で阿蘇山頂に登れず、熊本城に変更した場合 →熊本駅（14：00到着）→熊本空港（14：50到着）</p>
内 容	<p>訪問地：南阿蘇村有機肥料生産センター 完熟牛糞堆肥を製造している堆肥センターです。BMプラントが併設されており、原料はセンターで製造した牛糞堆肥、そして堆肥製造時の水分調整には生物活性水を使っています。</p> <p>訪問地：南阿蘇村村内の熊本地震被災現地 熊本地震で崩落した阿蘇大橋や村内の被災地を語り部と一緒に見学します。</p> <p>訪問地：バラ生産者の小堀孝二さん 南阿蘇村有機肥料生産センターの生物活性水と牛糞堆肥を使って土耕栽培しているバラ生産者です。500坪のハウスで8種類のバラを栽培しています。</p> <p>訪問地：白川水源 南阿蘇の湧水の代名詞とも言える水源で、一級河川白川の水源です。毎分60トンもの湧水が地底の砂とともに、勢いよく湧き上がっています。</p> <p>訪問地：阿蘇山頂 世界でも有数の大型カルデラと雄大な外輪山を持ち、火の国熊本県のシンボリックな存在の活火山です。</p>

6. 会場へのアクセス・会場からのアクセス

(1) 会場へのシャトルバス (& 2日目、会場からのシャトルバス)

会場へのシャトルバス (初日)

出発地	出発時刻	会場到着時刻	費用	
熊本駅①	12時10分	12時50分	300円	
熊本駅②	12時40分	13時20分	300円	※ホテルでの弁当は不可
熊本空港	12時15分	13時05分	800円	
福岡空港	11時10分	13時00分	2,000円	韓国と遠来の方に限定

会場からのシャトルバス (2日目)

目的地	ホテル出発	目的地着	費用	
熊本駅行き	12時40分	13時20分	300円	
熊本空港行き	12時40分	13時30分	800円	
福岡空港行き	12時40分	14時30分	2,000円	韓国と遠来の方に限定

(2) 公共交通機関

①熊本駅から

「菊池温泉行き」で、38分、「菊南温泉前」バス停から歩いて2分 440円

※バスの行き先は「菊池温泉」という菊池市にある温泉行きです。会場の「菊南温泉」はずっと手前です。

※タクシーで、約2100円

②熊本空港から

現実的ではありませんのでシャトルバスをご利用ください。

(リムジンバスで熊本市内の「水道橋」で乗り換えて、1時間20分程度かかります)

※タクシーで、約5000円

(3) お車でお越しの方 ※駐車場は十分にあります。

◇福岡方面から 植木ICから約20分 (12km)

◇鹿児島方面から 熊本ICから約20分 (10km)

(4) 飛行機・鉄道のアクセス詳細については13ページ以降をご覧ください。

【第28回BMW技術全国交流会 申込要項】

1. 申込方法

○申込は、FAXまたはメールでお申込ください。

①FAXで申込をされる方は、添付資料「参加申込書」に所定事項をご記入の上、下記の番号までご送付ください。

FAX：03-5211-0636

(お手数ですが、送信確認を電話03-5211-0681までお願いします。
土日の場合は翌月曜日以降にお願いします。)

②メールでの申込を希望される方は、参加申込書をデータでお届けしますので、下記のアドレスまでご連絡ください。

*E-mail: bm-kyokai@bm-sola.com

2. 参加申込書の記入上の注意 ※別紙添付の参加申込書の2枚目に「記入例」があります。

【申込書の記入上の注意】

(1) 参加者・参加団体のお名前・名称、連絡先などをご記入ください。団体で申込まれる場合は、なるべく「担当者」に連絡のとりやすい連絡先(TEL、FAXなど)をご記入ください。名前の欄が足りない場合は、お手数ですがコピーしてお使い下さい。

①全国交流会(フル参加6000円、1日だけ参加4000円)

参加する日程に○を記入して下さい。

フル参加の方は、両方(26日・27日)に○を記入して下さい。

②宿泊 ※宿泊には朝食が付いています。

希望する宿泊形態、通常またはシングルを選択して下さい

・通常(2～4名の相部屋で使用)

・シングル(30部屋限定です)

③懇親会

参加の方は○を記入して下さい。

④視察コース

参加希望される方は、A～Dのいずれかを記入して下さい。

なお、それぞれのコースで予定人数になり、それ以後の申し込みの場合は、事務局より変更等の連絡をさせていただきます。

⑤行き(26日)シャトルバス

それぞれ以下のようなバス代です。

イ：熊本駅から(12時10分発)300円

ロ：熊本駅から(12時40分発)300円

ハ：熊本空港から 800円
ニ：福岡空港から 2,000円
シャトルバスを希望される場合は、イ・ロ・ハ・ニのいずれかを記入して下さい。

⑥一日目（26日）の昼食
交流会前に会場にて昼食を希望の方は○を記入して下さい。

⑦帰り（27日）シャトルバス
それぞれ以下のようなバス代です。

イ：熊本駅に 300円
ロ：熊本空港に 800円
ハ：福岡空港に 2,000円

シャトルバスを希望される場合は、イ・ロ・ハのいずれかを記載して下さい。
視察コース参加の方は申し込み不要です。

(2) 合計、総計、振込

A欄に①～④、B欄に⑤～⑦の参加費の合計を記入して下さい。
A欄～B欄の合計を個人ごとに計算して、合計をC欄に記入して下さい。
複数人数での申込みは、最下段の合計人数と合計金額を計算して記入して下さい。
下段「振込」欄に、振込予定日・振込方法を記入して下さい。

(3) その他

- 1) FAXで申込みの方は、確認の電話をお願いします。
電話：03-5211-0681（土日祝を除く9時～17時）
- 2) 申込みを受け付け次第、こちらから確認のFAXまたはメールを返信します。

3. 参加申込の締切日

○参加申込書は 10月10日（水）までにご送付・ご送信ください。

4. 参加費の支払いについて

- 参加申込書の「合計金額」を銀行・郵便局の窓口、ATMでお振込ください。
- 申し訳ありませんが、振込手数料は参加者のご負担でお願いします。

【振込口座】

①郵便局のATMと窓口でのお手続き（口座間お取引含む）

■記号：10180 ■番号：21650791

■口座名義 BMW技術全国交流会実行委員会

②郵便局以外でのお手続き

■金融機関名：ゆうちょ銀行 ■店番：018

■（種目）口座番号（普通）2165079

■口座名義 BMW技術全国交流会実行委員会

5. 振込締切日

○振込は 10月31日(水)までをお願いします。

6. 変更・キャンセルと参加費の返金について

- 申込後の変更・キャンセルについては、下記の「第28回BMW技術全国交流会・実行委員会事務局」まで、電話、FAXまたはメールでお早めにご連絡ください。
- 11月5日(月)以降の変更(参加者の減少)・キャンセルについては参加費用の50%をキャンセル料として頂戴いたします。11月19日(月)以降のキャンセルについては全額返金できません。
- キャンセルされた場合、参加費用の返金については、事務処理上の都合で全国交流会の会計処理終了後(12月中旬以降)になります。返金の際の振込手数料はご負担下さい。

7. お問い合わせ連絡先

- お問い合わせは下記の全国交流会・実行委員会事務局
(一般社団法人BMW技術協会内/担当:秋山・佐々木・星加)までご連絡ください。
- 受付時間は、午前9時から午後5時まで(土日・祝日を除く)。
- ※FAX・メールは終日受信できますが、電話での対応は前記の時間帯になります。

8. 問合せ先

【第28回BMW技術全国交流会・実行委員会】事務局

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋1-12-4 美文社ビル2F

一般社団法人BMW技術協会内

(電話番号) 03-5211-0681 (FAX番号) 03-5211-0636

(メール) bm-kyokai@bm-sola.com

※実行委員会事務局のFAX・電話番号は専用ではありませんのでご注意ください。
一般社団法人BMW技術協会の電話・FAXと兼用です。

各地からの飛行機・鉄道のアクセス案内

※航空会社により発着の時刻が変更になる場合がありますので、予約時には各自でご確認をお願いします。

1. 行き

(1) 熊本空港に

※熊本空港からは会場行きシャトルバス（12時15分発）があります。

（要申込／10ページ参照）。

出発地	発時刻／便名	経由地到着 経由地発時刻／便名	熊本空港 到着時刻
新千歳 (羽田経由)	8:00／JAL500	9:35 10:05／JAL627	11:55
新千歳 (羽田経由)	7:30／ANA50	9:10 10:00／ANA643	11:55
青森 (羽田経由)	7:55／JAL140	9:15 10:05／JAL627	11:55
秋田 (羽田経由)	7:35／ANA402	8:45 10:00／ANA643	11:55
仙台 (伊丹経由)	7:45／ANA732	9:10 10:35／ANA1625	11:55
羽田	10:05／JAL627	(直行便)	11:55
羽田	10:00／ANA643	(直行便)	11:55
大阪(伊丹)	7:25／JAL2383	(直行便)	8:35
大阪(伊丹)	10:35／ANA1625	(直行便)	11:55

(2) 福岡空港に

※福岡空港からのシャトルバスは、韓国からの参加者と、直通で福岡の方が都合の良い出発地からの受け入れに限らせていただきます。会場行きシャトルバスは、11時10分発です。

（要申込／10ページ参照）。

出発地	発時刻／便名	福岡空港到着時刻	運行航空会社
仙台	7:35／ANA3110	9:50	IBEX010
静岡	9:00／FDA141	10:40	

(3) JR熊本駅に

※熊本駅からは会場行きシャトルバス（12時10分発、12時40分発）があります。（要申込／10ページ参照）。※12時40分発はホテルでの弁当不可です。

○ 新幹線

※JR便は、新大阪からの新幹線直通便だけを案内しています。それ以外の新幹線、在来線は各自でお調べください。分からない場合は、事務局までご連絡ください。

	新大阪発	岡山発	広島発	小倉発	博多発	熊本着
さくら547号	8:04	8:54	9:34	10:21	10:39	11:17
みずほ605号	8:59	9:46	10:22	11:08	11:25	11:57
さくら549号※	9:17	10:08	10:48	11:38	11:56	12:33

※さくら549号で、12時40分発のシャトルバスではホテルでの弁当不可です。

2. 帰り

(1) 熊本空港から

※ホテルからのシャトルバスは熊本空港に13時30分着の予定です。

※視察ツアーは、Aコース(27日)は16時20分着です。

D:1泊2日コース(28日)は14時50分着です。

シャトルバスからの航空便(熊本空港に13時30分着)

目的地 (経由地)	発時刻/便名	経由地到着 経由地発時刻/便名	目的空港 到着時刻
新千歳 (羽田経由)	14:10/JAL630	15:40 16:30/JAL523	18:00
新千歳 (羽田経由)	14:40/ANA3716 (ソラシドエア016)	16:20 17:00/ANA73	18:35
青森 (羽田経由)	15:45/JAL632	17:15 18:25/JAL149	19:40
秋田 (羽田経由)	14:40/ANA3716 (ソラシドエア016)	16:20 18:10/ANA407	19:15
仙台 (伊丹経由)	14:35/ANA1628	15:45 17:00/ANA737	18:10
羽田	14:10/JAL630	(直行便)	15:40
羽田	14:40/ANA3716 (ソラシドエア016)	(直行便)	16:20
大阪(伊丹)	14:35/ANA1628	(直行便)	15:45

Aコースからの航空便(熊本空港に16時20分着)

目的地 (経由地)	発時刻/便名	経由地到着 経由地発時刻/便名	目的空港 到着時刻
新千歳 (羽田経由)	17:15/JAL634	18:45 19:30/JAL529	21:00
新千歳 (羽田経由)	17:20/ANA648	18:55 20:00/ANA79	21:35
青森 (羽田経由)	17:15/JAL634	18:45 20:00/JAL151	21:20
秋田 (羽田経由)	17:20/ANA648	18:55 20:15/ANA409	21:20
羽田	17:15/JAL634	(直行便)	18:45
羽田	17:20/ANA648	(直行便)	18:55
大阪(伊丹)	19:10/JAL2392	(直行便)	20:25
大阪(伊丹)	17:35/ANA526	(直行便)	18:40

Dコースからの航空便（熊本空港に14時50分着）

目的地 (経由地)	発時刻／便名	経由地到着 経由地発時刻／便名	目的空港 到着時刻
新千歳 (羽田経由)	15:45／JAL632	17:15 18:30／JAL527	20:00
新千歳 (羽田経由)	16:25／ANA3718 (ソラシドエア018)	18:05 18:50／ANA4735 (エアドゥ35)	20:20
青森 (羽田経由)	15:45／JAL632	17:15 18:25／JAL149	19:40
秋田 (羽田経由)	17:20／ANA648	18:55 20:15／ANA409	21:20
羽田	15:45／JAL632	(直行便)	17:15
羽田	16:25／ANA3718 (ソラシドエア018)	(直行便)	18:05
羽田	17:20／ANA648	(直行便)	18:55
大阪(伊丹)	19:10／JAL2392	(直行便)	20:25
大阪(伊丹)	17:35／ANA526	(直行便)	18:40

(2) 福岡空港からの航空便

※ホテルからのシャトルバスは福岡空港に14時30分着の予定です。

※視察ツアーは、Bコース・Cコース(27日)は16時55分着

シャトルバスからの航空便（福岡空港に14時30分着）

目的地 (経由地)	発時刻／便名	経由地到着 経由地発時刻／便名	目的空港 到着時刻
新千歳 (羽田経由)	16:00／JAL320	17:35 18:30／JAL527	20:00
新千歳 (羽田経由)	15:15／ANA258	16:55 17:20／ANA4731 (エアドゥ31)	18:55
青森 (羽田経由)	16:15／JAL320	18:05 18:25／JAL149	19:40
秋田 (羽田経由)	15:15／ANA258	16:55 18:10／ANA407	19:15
仙台	16:55／ANA1277	(直行便)	18:40
羽田	16:00／JAL320	(直行便)	17:35
羽田	15:15／ANA258	(直行便)	16:55
静岡	18:40／FDA148	(直行便)	20:05
大阪(伊丹)	16:25／JAL2058	(直行便)	17:30
大阪(伊丹)	16:15／ANA426	(直行便)	17:25

ツアーBコース・Cコースからの航空便（福岡空港に16時55分着）

目的地 (経由地)	発時刻／便名	経由地到着 経由地発時刻／便名	目的空港 到着時刻
新千歳 (羽田経由)	18:00／JAL326	19:35 20:30／JAL531	22:00
新千歳 (羽田経由)	17:50／ANA264	19:30 20:00／ANA79	21:35
秋田	17:50／ANA264	19:30 20:15／ANA409	21:20
仙台	19:15／ANA3121 (IBEX021)	(直行便)	20:55
羽田	18:00／JAL326	(直行便)	19:35
羽田	17:50／ANA264	(直行便)	19:30
静岡	18:40／FDA148	(直行便)	20:05
大阪(伊丹)	18:55／JAL2060	(直行便)	20:15
大阪(伊丹)	17:30／ANA428	(直行便)	18:35

(3) JR熊本駅・博多駅から

※ホテルからのシャトルバスは熊本駅に13時20分着の予定です。

※視察ツアーの到着時刻（熊本駅）

Aコース（27日）は（熊本駅に）17時10分着

D：1泊2日コース（28日）は（熊本駅に）15時40分着

（阿蘇山頂を熊本城に変更した場合は14時着）

※視察ツアーの到着時刻（博多駅）

Bコース・Cコース（27日）は（博多駅に）17時25分着

○ 新幹線

※JR便は、新大阪行きの新幹線直通便だけを案内しています。それ以外の新幹線、在来線は各自でお調べください。分からない場合は、事務局までご連絡ください。

	熊本発	博多発	小倉着	広島着	岡山着	新大阪着
さくら556号	13:35	14:15	14:31	15:21	16:02	16:48
さくら558号	14:35	15:15	15:31	16:21	17:02	17:48
さくら560号	15:01	15:41	15:57	16:44	17:27	18:24
さくら562号	15:35	16:15	16:31	17:21	18:02	18:48
さくら564号	16:01	16:41	16:56	17:46	18:33	19:24
みずほ606号	16:44	17:19	17:35	18:21	18:58	19:47
さくら566号	17:35	18:15	18:31	19:21	20:02	20:48
さくら568号	18:02	18:42	18:57	19:50	20:31	21:25

熊本市周辺地図



九州広域地図



会場（菊南温泉ユウベルホテル）周辺の地図

熊本県熊本市北区鶴羽田3丁目10-1（電話：096-344-5600）



— 実行委員会 —

実行委員長 中塘万格人（やまびこ会）

実行委員

清村徹（清村養豚場）

庄村拓摩（庄村養鶏場）

菅原一真（産直なごみ）

日永幸介（大矢野原農場）

長尾秀史（南阿蘇村役場）

緒方利光（やまびこ会）

渡辺洋一（熊本県愛農会）

横手俊郎（ヨコテ）

浦克稔（紅会）

柴田周作（糸島BM農法研究会）

麻生朗（農援隊）

川口尚幸（紅会）

林田康一（産直南島原）

荒牧洋一（グリーンファーム久住）

判田直也（アーム農園）

押田明（綾豚会）

高岡秀敏（GCくまもと）

西村大輔（GC連合会）

鹿毛優子（GC共同体）

事務局長 宮崎利明（GC連合会）

事務局 秋山澄兄（BMW技術協会）

秦武士（GC連合会）

Bacteria Mineral Water Technology